

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	ユーグレナ研究会 第32回研究集会
演題名	Euglena gracilisの光環境応答におけるジャスモン酸の生理機能の解析
発表者	加藤翔太[1]、加瀬大地[2]※、高橋晃司[1]※、渡邊陽太[1]※、湯本絵美[1]、 <u>横田孝雄[1]</u> 、 <u>山根久和[1]</u> 、 <u>篠村知子[1]</u> [1]帝京大・理工・バイオ、[2]帝京大・院・理工
内容	<p>植物ホルモンの一種であるジャスモン酸は、高等植物では光形態形成に関与していることや、緑藻ヘマトコッカスではジャスモン酸処理によって光傷害回避に関わるカロテノイドの細胞への蓄積が誘導され、過剰な光エネルギーの散逸(非光化学的消光)が増加することが知られている。そこで、本研究では、ユーグレナの光環境応答におけるジャスモン酸の生理機能の解明を目指し、(1)独立栄養条件または従属栄養条件で培養したユーグレナ細胞の内生ジャスモン酸レベルの経時変化や、(2)強光処理が内生ジャスモン酸レベルに及ぼす影響や、(3)培地へのジャスモン酸類の添加がユーグレナの増殖に及ぼす影響を解析した結果を報告した。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研生や本学大学院に進学した大学院生や学内外の研究者と共同で行った。</p>
関連画像	